

Rotary Club of Satte Chuo



2015-2016年度RIテーマ
世界へのプレゼントになろう
“Be a gift to the world”

会長 張ヶ代宜広

幹事 飛田 正樹

例会日：毎週火曜日 19:30～20:30

事務所：埼玉県幸手市南2-6-20 G-Five内

〒340-0156 TEL&FAX 0480-44-0056

例会場：G-Five1階会議室

国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラ氏

第2770地区 ガバナー
井原 實氏 (さいたま新都心RC)

2015年 8月25日 火曜日
第790回例会 No.6

[開会]

[開会点鐘]

[ロータリーソング斉唱] 我らの生業

[四つのテスト唱和]

[ビジター紹介]

ピアニスト 菊地美涼様



[会長挨拶] 張ヶ代宜広会長

Apple の歴史

“iphone,ipad”でおなじみのアップルは昔アップルコンピューターという名前でした。また、イギリスにビートルズが設立したアップル・コアという会社がありました。イギリスのアップルがアップルコンピューターを相手取り訴訟を起こしました。アップルコンピューターが和解金を支払い決着しました。イギリスのアップルは音楽事業、アップルコンピューターは音楽事業に参入しないという内容です。しかし、その後何度も何度も訴訟合戦が行われなした。その一つにサウンドボードに日本語で“sosumi”という名前を付けこれは“so sue me”というさあ訴えてみる“という意味です。

さらに、iTunes Music Store を作りロゴも“Apple”に変更この訴訟問題でビートルズの曲は iTunes Music Store で配信していませんでした。最終的に和解決着しました。



[幹事報告] 飛田正樹幹事

☆国際ロータリー第 2770 地区

第 28 回インターアクト年次大会

御礼

☆地区マスコット 着ぐるみ貸出

のご案内

レンタル費用 1回 10,000 円

☆地区大会ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペの

ご案内

10月19日(月)プレステージカントリークラブ

栃木県栃木市梓町 455-1

☆公益財団法人 米山梅吉記念館

賛助会ご入会のお願い 一人 年間 3,000

秋季例祭ご案内 9月12日(土)

米山梅吉記念館ホール



[本日の例会]

[卓話] ピアニスト 菊地美涼様

皆様、こんばんは。このような機会に皆様の前でお話するのは初めてですので、少し緊張しております。温かく見守っていただければ有難いです。

私は今、ピアニストとして活動しております。現在はザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学に通っています。入学してから5年ほど経ちます。ザルツブルグという町はオーストリアにあります。オーストリアは、オーストラリアによく間違えられて、先日母親が配送してくれた荷物がオーストラリアのメルボルンに届いてしまいました。



た。以前、先輩の荷物もオーストラリアに届いていたことがあったようで、決して珍しいことではないようです。

オーストリアの公用語はドイツ語になります。クラシック音楽では、オーストリア人とドイツ人の作曲家の作品を合わせてドイツ音楽と呼ぶことも多いので、ドイツとオーストリアというのはイメージ的に同じように感じていました。実際暮らしてみるとイメージが違うことも多いです。ザルツブルグはドイツの国境とも近いので、ドイツにはよく遊びに行きます。ドイツに対しては、真面目で四角いイメージを持っていました。そのことについては、それほど違いを感じませんでした。オーストリアは、思っていた以上に融通が利いて丸いので、イメージがとても変わりました。

ザルツブルグは首都ウィーンから電車で3時間ほどの所にあります。ウィーンには大きいコンサートホールがたくさんありますし、素晴らしいコンサートもたくさん開催されていますので、出向いて行ってコンサートを聞いたりしています。ザルツブルグは小さな町で、お年寄りも多く住んでいる場所です。

ザルツブルグが有名なのは、モーツァルトの生まれた場所であり、指揮者のヘルベルト・フォン・カラヤンの生まれた場所だからです。もっとコアなことを言いますと、救急車の近づいて行って遠ざかって行く音の変化「ドップラー効果」を発見したドップラーの生誕地でもあります。今の時期、7月8月は「ザルツブルグ音楽祭」というとても大きな音楽祭を開催していますので、世界各地からたくさんの人々が訪れていて、町全体がとても華やかな雰囲気になります。その他には、少しバスで行くと山地帯に入りますし、また、湖水地帯も結構多いので、避暑地としても有名な所です。

向こうの暮らしについてお話します。日本とのコミュニケーションの違いについて感じることは、はっきりと意思表示をしなければ思いが伝わらないということです。感情表現が単純明快です。日本では全てを伝えなくても、くみ取ってくれることが多く、その心遣いに癒されます。深読みをされることはないけど、その反対にしてくれることもあります。仕事に対する考え方も、ハッキリとしています。土曜日の午後と日曜日は、スーパーは休みとなっています。夏休みとクリスマス前後も長期にお休みを取ります。その期間は、どんな問題があっても対応してくれません。「お休みはお休み」といったように区別

して生活しています。日本ではなかなか考えられないことですが、それはそれで「人生を楽しんでいるな」と感じています。また、日本の仕事ぶりの素晴らしさを感じることも多々あります。接客の素晴らしさはいつもホッとします。それと、先生にいつもお土産を買っていきませんが、包装の細やかさと包装紙でのパッケージの綺麗さについても驚かれます。

学校についてお話します。学校に入る前に、レッスンを受ける先生を決めるため、現地に出向いていきます。私は、ザルツブルグとウィーンとベルリンに行きました。それが私にとって初めての一人での海外旅行でした。最初にベルリンに行きました、ホテルまでタクシーで行こうと思ったら、途中で下されてしまい、すごい雪の日でしたのでこのままここにいると凍死してしまうのではないかと不安に思いました。通りすがりの方に声を掛けてもらって、ホテルまで送ってもらえたことは、今でも強烈な思い出として残っています。結局は、ザルツブルグの先生との相性が良かったので試験を受けて入ることが出来ました。一人暮らしの経験もなく、ドイツ語も全然話せなかったのに、不安でしかたなかったのですが、先生たちも周りのみんなも大家さんも世話を焼いてくれる方たちばかりでしたので、思ったよりスムーズに始められて、とても助かりました。上の部屋のおばあちゃんは、いつも手作りのケーキを焼いて持って来てくれます。ザルツブルグは、幸手と同じくらいの規模の街です。住みやすい場所です。ビザの申請も他の町と比べて人口が少ないので、結構簡単にできました。

学校生活は、ピアノの実技のテスト以外に副科という講義の授業もあります。例えば、音楽の歴史などの授業ですが、ドイツ語がよく分からないので、言っている



意味が分からなくて困りました。テストの時には、授業の資料の意味を調べることから始まります。その後、暗記してテストに臨むのですが、いつも再試という感じでしたので、とても苦労しました。プレゼンなどもあり、準備と内容を読み上げることに苦労しました。私のドイツ語に周りが「????」になっているのが分かりました。ただひたすら読んで頑張りました。そう言った授業も内容は日本でやったことのある内容でした。しかし、切り口がまた違うので、内容に関してはとても興味深かったです。

ピアノのレッスンは、日本ではかなり厳しく教えられることが多かったのですが、向こうの先生は基本的には「褒めて伸ばす」タイプが多いです。自分は「叱られて伸びる」タイプだと思っていたので、戸惑いを感じましたが、実際、その教育方法で受けてみたら、自分の演奏に自信を持つことが出来ました。伸び伸びとオープンに表現できるようになったと感じています。日本では、正確にピアノを弾くことと、難しい曲を弾きこなすことに、まだ重点を置かれている様に思います。向こうでは、音楽を感じて、それをいかに表現するかということ学びました。良い演奏というのが日本とは違うように感じましたし、いい刺激になりました。一週間に一回、クラスレッスンという門下同士で弾き合うレッスンがあったり、月一回、クラスコンサートといって学校の小さいホールで弾いたりする機会がありました。人前で弾く機会が多かったので、自分の為になり良かったなと思っています。学校の近くにミラベル宮殿というのがあります。そこでは毎晩のようにコンサートが開催されており、自分も何回か弾かせて頂く機会がありました。その宮殿は、とてもきれいな装飾が施されており、白い素敵なピアノを置いていましたので気持ちよく演奏させて頂きました。

私が入学して感銘を受けたことは、コンサートが本当に身近なものになっていることでした。どの町にもコンサート会場やオペラハウスの数多くありました。コンサートの数自体も多いので、一般の皆さんがコンサートに行くことが習慣化されています。会場の空気も気楽な様子に感じられます。それは、すごく羨ましいと思います。また、学生は、安い料金(たまに無料の時もあります)で素晴らしいコンサートを聴くことができるので、若い人たちが気軽にコンサートに親しめる環境は素晴らしいと思います。日本でも、そういった環境に少しでも近づけ

るようになったらいいなと思いました。日本では、ピアノを習う方は大変多いのですが、ピアノのコンサートとか、クラシックのコンサートとかは、そこまで身近になってはいません。私は、そういったクラシックのコンサートやピアノのコンサートがもっとも身近になるような演奏活動をしていくことが今後の目標となっています。

本日は有り難うございました。今後とも宜しくお願い致します。



◇菊地美涼様プロフィール◇

1989 年生まれ。埼玉県出身。

2000 年から 2006 年までヤマハマスタークラスに在籍。

2012～2014 年度ヤマハ音楽振興会留学奨学生。

第 8 回彩の国埼玉ピアノコンクール A 部門金賞(1997 年)、第 25 回ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会 D 級銅賞(2001 年)、第 8 回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクール A 部門(15 歳以下)第 1 位およびベーレンライター原典版賞(2002 年、ドイツ)、第 5 回シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会 中学生部門金賞(2004 年)、第 5 回カールチェルニー国際ピアノコンクール 第 2 カテゴリー(14～16 歳)第 1 位(2005 年、チェコ)、第 8 回ヨーロッパシヨパンピアノコンクール 最年少 5 位(2006 年、ドイツ)、第 8 回シヨパン国際ピア

ノコンクール in ASIA アジア大会 一般部門銀賞(2007年)など、幼少の頃より数多くのコンクールで優秀な成績を収める。2011年には、モーツァルトプライス 2011(モーツァルトテウム学内コンクール)にて第1位を受賞。2006年には、中村紘子氏による「若手ピアニストシリーズ」に推薦され、水戸市佐川文庫多目的ホールにてリサイタルを行う。また、同年 Bunkamura オーチャードホールにて「ヤマハ・ガラ・コンサート」に出演し、十束尚宏指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団と共演した。海外においても、オーベル・シュル・オワーズ国際音楽祭(フランス)、ヤマハマスタークラス・コンサート(ロンドン:ロイヤルアカデミーデュークスホール、ドイツ:ハンブルク・ヤマハアカデミー)、Stiftskirche Mattsee でのリサイタル(オーストリア)、ミラベル宮殿コンサート(オーストリア)など、数多くの演奏活動を行っている。また、プリマヴィスタ弦楽四重奏団(ポーランド)、ザルトツブルガー・ゾリステン(オーストリア)と共演するなど、室内楽にも力を傾注している。2010年秋よりザルトツブルグ・モーツァルトテウム音楽大学にて、A.ウエーバー氏のもと研鑽を積む。



[出席報告]

	会員数	出席者数	MU	出席者数計	%
本日	27	12	2	14	51.85%
前回修正	27	27	0	27	100.00%
前々回修正	27	11	3	14	51.85%

[スマイルボックス報告]

●小林達郎会員

菊地様、卓話有り難うございました。

●中田盛夫会員

菊地様、本日は、ありがとうございます。

●石橋久充会員

菊地さん、ようこそ！今日は宜しく願います。

昆さん、元気になってきたようで良かったです。

飲みすぎ注意。

●昆 裕司会員

菊地様、本日は有り難うございました。

本日の合計	¥5,000
本年の合計	¥46,000

[閉会点鐘]

例会の出席は、ロータリアンに課せられた最低の責任です。欠席の連絡は、必ずお願い致します。

クラブ事務所 Tel&Fax 0480-44-0056

広報委員会

中田 盛夫 下津谷 力